

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

共存共栄の精神で世の中に新たな価値と笑顔を創出。ブランドの可能性を理解し事業拡大のアイデアがひらめく存在を目指す。

営業利益率
5%以上

2 中長期の経営戦略

1. ブランドファースト経営

ブランドを起点に一貫した企業経営を行い企業ブランド力を向上。インナー・アウトターブランディング両面で組織力・営業力・採用力を強化。

3. 中堅企業向け伴走支援

日本を代表する中堅・中小企業・開業医向けブランディング・マーケティング伴走支援社を戦略コンセプトとして、社会的価値向上・差別化支援を推進。

2. 既存事業収益構造改革

既存サービスで継続して収益構造改革に取り組み、安定的かつ継続的な収益基盤を強化・発展させる。

3 対処すべき課題

① 市場変化への対応

- ・生成AIをはじめとするテクノロジー進化に対応した最適なソリューション提供
- ・市場のニーズを先取りした商品・サービス開発
- ・優秀な人材確保と迅速な意思決定体制構築

② 収益基盤の継続的強化

- ・3,000社超の顧客基盤を活用した信頼関係強化
- ・顧客サポート体制強化と顧客の声収集
- ・付加価値の高いサービスの適時提供

③ 優秀な人材確保と育成

- ・人的資本への投資を重点施策として多様な人材確保
- ・営業・制作・経営管理分野での人材育成強化
- ・社内外研修充実と人事制度の継続的改善

面接で使えるポイント

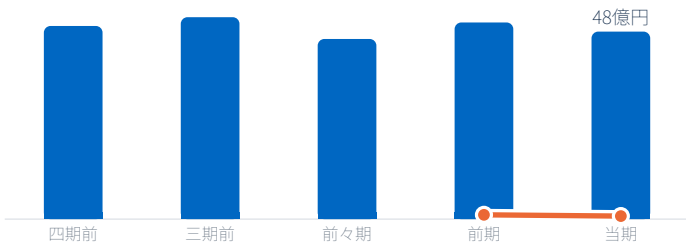
- ・国内インターネット広告市場が3兆6,517億円規模に拡大する中で...
- ・3,000社超の顧客基盤を持つ強みを活かし、生成AIなどの技術変化に対応したソリューション提供で市場シェア拡大を目指す戦...
- ・人的資本投資を重点施策とした組織基盤構築により、市場変化に耐えうる企業へ成長するビジョン。

ブランディングテクノロジー株式会社

サービス業 | グロース（内国株式） | 決算期 3月31日 | ...

証券コード 7067

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
48億円

営業利益率
1.6%

財務健康度
47点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 39.0（当サイト算出の参考指標）

平均年収
509万円

サービス業内 386位/524社

平均年齢
36.4歳

サービス業内 346位/527社

平均勤続
6.8年

サービス業内 253位/527社

女性管理職
23.1%

サービス業内 148位/371社

男性育休

－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

参考: ブランディングテクノロジー(株)【7067】：決算情報

ブランディングテクノロジー株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

